

製品名: リン酸化 eIF4B (Ser406) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84898**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 69 kDa; Observed MW: 80 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-eIF4B (Ser406)
別名	EIF-4B; PRO1843
遺伝子 ID	1975.0
SwissProt ID	P23588
免疫原	ヒト eIF4B の Ser406 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

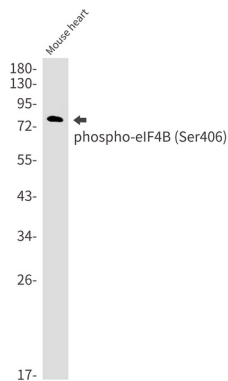
真核生物翻訳開始因子 4B (eIF4B) は、40S リボソームサブユニットを mRNA にリクルートする上で重要な役割を果たしま

す。eIF4B は eIF4F および eIF4A と密接に連携して機能します。eIF4F および ATP 存在下で、mRNA の 5'末端キャップ付近に結合します。eIF4B は、eIF4A と eIF4F の両方の ATPase 活性と ATP 依存性 RNA 巻き戻し活性を促進します。

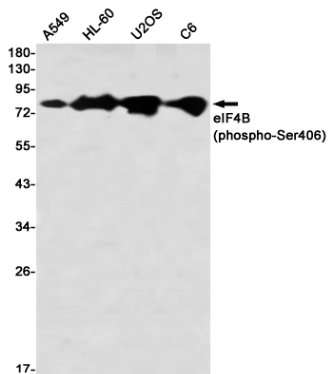
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

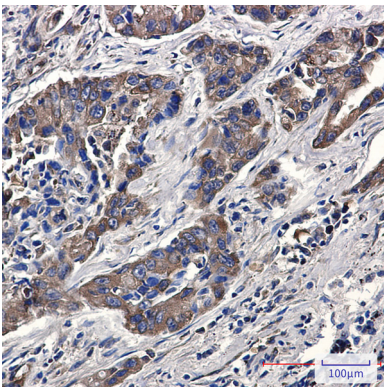
画像データ



リン酸化 eIF4B (Ser406) 抗体を用いたマウス心臓溶解物中のリン酸化 eIF4B (Ser406) のウエスタンブロット分析。



eIF4B (Phospho-Ser406) 抗体を使用した A549、HL-60、U2OS、C6 溶解物中の eIF4B (Phospho-Ser406) のウエスタンブロット分析。



eIF4B (リン酸化 Ser406) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。